

入試情報

令和6年度 島根県立農林大学校 林業科学生募集

◆募集人員及び修業年限

募集人員	修業年限
20人	2年



詳しくは農林大学校ホームページから学生募集要項・学校要覧等をご覧ください

農林大学校入試情報

◆入学試験の区分等

試験区分	願書受付	試験日	合格発表
学校長推薦入試 出身指定学校長推薦 出身学校長推薦A・B	R5年9月27日(水)～10月11日(水)	11月1日(水) ※出身学校長推薦A・Bのみ	11月22日(水)
一般入試	前期	R6年1月5日(金)～1月25日(木)	2月13日(火) 2月26日(月)
	後期	R6年2月27日(火)～3月5日(火)	3月19日(火) 3月25日(月)
地域推薦入試※	第1回：R5年9月27日(水)～10月11日(水) 第2回：R6年1月5日(金)～1月25日(木) 第3回：R6年2月27日(火)～3月5日(火)	第1回：11月1日(水) 第2回：2月13日(火) 第3回：3月19日(火)	第1回：11月22日(水) 第2回：2月26日(月) 第3回：3月25日(月)

試験場所 島根県立農林大学校 大田本校 (大田市波根町 970-1)

※印：農業再生協議会・林業認定事業者・流域林業活性化センターの推薦

◆主な修学等経費

入学検定料	入学科	授業料	教材費・資格取得費用等	寮費(家賃)
2,200円	5,650円	9,900円/月	45万円程度/2年	9,000円/月

◆学生支援

緑の青年就業準備給付金	林業就業促進資金
給付額：年間最大142万円 給付金を受けられるので、修学費用の経済的負担を抑えられます。	貸付限度額：年間最大60万円 研修受講費用等に貸付金(無利子)が利用できます。

※各支援制度の受給には一定要件があります。詳細は林業科までお問合せください。(TEL: 0854-76-2100)



安心して授業を受けられるよ!



いざ来たれ! 森林・林業の未来を切り拓く挑戦者たち



島根県中山間地域研究センター情報誌

Chu-San-Kan press

チュウサンカンプレス

令和5年
Vol.37

研究の森から中山間地域を応援します

出身者と紡ぐ、ふるさとの未来 【地域研究科】



奥出雲町鳥上地区

特定母樹 ～森林の未来を担うヒーロー～ 【森林保護育成科】



閉鎖型採種園の試験場

島根県中山間地域研究センター情報誌

Chu-San-Kan press 令和5年
Vol.37

研究の森から中山間地域を応援します

編集・発行

島根県中山間地域研究センター
〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207
TEL 0854-76-2025 FAX 0854-76-3758



WEBで検索 島根県中山間地域研究センター

検索

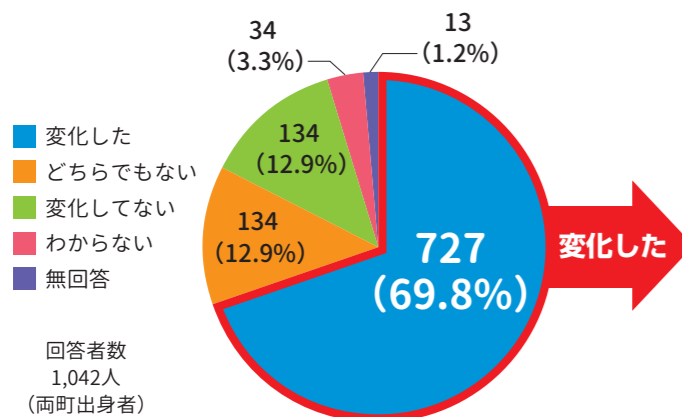
出身者と紡ぐ、ふるさととの未来



新型コロナウイルス感染症の拡大は、わたしたちの生活だけではなく、島根県の出身者（ふるさとを離れて暮らす方々）をはじめとして家族のカタチにも大きな影響を与えました。お盆やお正月、そして田植えや稲刈りなどの農繁期に帰っていた出身者がふるさとに帰ることができなくなり、実家やふるさととの関わり方の変化を余儀なくされました。

中山間地域研究センターが、飯南町・奥出雲町と2021年度に共同実施した両町出身者へのアンケート調査から出身者の思いやふるさととの未来を考えます。

新型コロナによる価値観・考え方の変化



両町出身者の約7割（727名）が価値観・考え方の変化を感じ、「休日の過ごし方」「実家との関係」「仕事・働き方」が変わったと感じています。

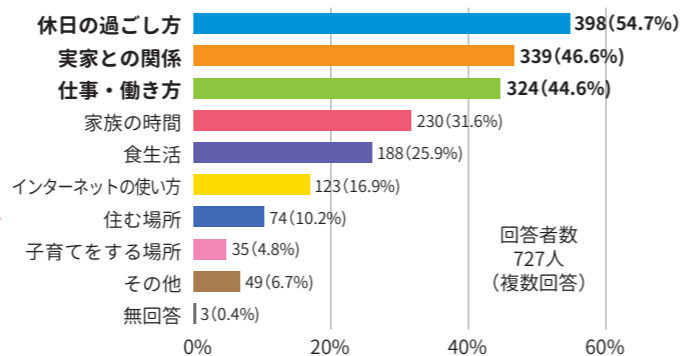
帰省が制限されたなか、ふるさととの関わり方の維持・拡大に向けては「町情報の発信」「町産品の購入」「ふるさと納税」などが求められています。

出身者の多くがさまざまな理由で、帰ることが難しいなか、離れていても関わりができる仕組みづくりや働きかけが求められています。

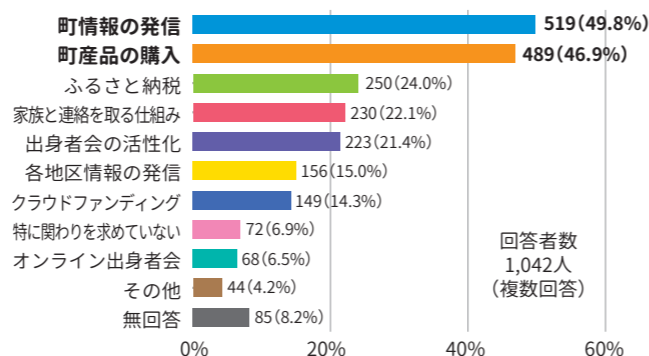


谷自治振興会 (2021年)

新型コロナによって変化した事柄



出身者が関わり方の維持・拡大に求めること



飯南町谷地区では、地域の草刈り活動を出し者にも呼びかけることで担い手を確保しています。地域の困りごとを地域内外で共有することで、関わる機会を提供し、ふるさととの未来を一緒に考えるきっかけにも繋がります。地域研究科では、出身者との連携・協働の手法や取組事例に関する情報提供を実施しています。

特定母樹 森林の未来を担うヒーロー

林業と花粉症、その知られざる関係



スギ花粉が飛散するイメージ

林業は、森を守り、木を育て、育った木を切って木材を作る産業です。日本では1950年ごろから、「スギ」や「ヒノキ」という木がたくさん植えられました。これらは成長が早く、まっすぐに育つため木材として使いやすいからです。しかし、今では大きく育ったこれらの木が春になると花粉をたくさん飛ばすようになっており、それが花粉症の一因となり、多くの人を困らせています。

選ばれし木、その名は「特定母樹」

「特定母樹」とは、スギやヒノキの中でも成長が早く、木材の質がよく、そして花粉が少ないような優れた性質を持つ木のことを言います（右図参照）。特定母樹から採った種子などから育てた苗木を「特定苗木」と呼びます。

特定苗木は、よく成長するため森を育てるコストを減らせる上に、木材として良い品質のものができるので森を管理している人たちはより多くの利益を上げられます。さらに、春に飛び散る花粉が少ないので、花粉症の症状の軽減などが期待できます。

そんな特定母樹ですが、無数のスギやヒノキの中から優れた特性を持つものを選ぶ必要があります。

島根県においては、**中山間地域研究センター**が行った調査によって選抜をしました。この調査では特殊な精密機械を使う必要があり、繊細な作業が求められました。

特定母樹の特徴

- 材積成長量が1.5倍**
在来の系統と比較して1.5倍以上材積成長量の良いものが選ばれます。成長が良いと様々なコストを削減できるなど、林業上有利です。
- 優れた剛性**
「剛性」は物の硬さや形を保つ力を指す言葉です。この値が周りの木の平均以上のものが選ばれます。剛性が高い木材を材料にした家などはとても丈夫です。
- まっすぐに育つ**
幹に曲がりがない、あるいは少ないものが選ばれます。幹がまっすぐな木は家の柱などに加工する際に有利です。
- 花粉が少ない**
花粉量が一般的なスギ・ヒノキのおおむね半分以下のものが選ばれます。花粉症対策として期待されています。

ハイグレードな種子を採るための「閉鎖型採種園」



閉鎖型採種園の様子

選抜した特定母樹を殖やすためには枝を切り取り、それを土に挿すなどしてクローン個体を作り、このクローン個体から種子を採るために「採種園」を作る必要があります。

島根県では、「閉鎖型採種園」という特別な採種園を作っています。「閉鎖型」とは、出自不明のスギ花粉が混入しないように、外界から閉ざされていることを意味しています。具体的には農業用のハウスのような閉鎖環境を用いることで、特定母樹同士で交配させることができ、優れた特性を受け継いだ種子を採ることができます。

しかし、閉鎖型採種園は熱がこもりやすいなど、野外とは違う環境になるので、うまく管理しなければなりません。そのため、**中山間地域研究センター**では木が快適に過ごせる環境を作る研究を進めています。